

年 組 名前:

悩みやいじめ アプリで相談

NTTデータ 全小中高向け 月内提供

NTTデータが今月、全国の小中学校や高校に向けて、児童や生徒が悩みを相談できるアプリの提供を本格的に始める。いじめの認知件数が全国的に増える中、学校側が早期に問題の兆候を把握し、いじめの深刻化や不登校を未然に防ぐ狙い。文部科学省の「GIGAスクール構想」で1人1台配備となった学習端末の活用を想定する。

NTTデータのNTTデータ関西（大阪市）がアプリ「ぼーち」スクールカウンセラーなど

子ども 相談アプリのイメージ

学習端末など 相談アプリ 友達 勉強 健康

悩みのジャンルを選んで相談 チャットも

体調に 体調に 応じて自動で

アドバイザー

の開発と販売を手がける。これまでには主に公立校を運営する自治体に販売し、大阪府校

方市立63小中で3万人弱の生徒が利用しているが、私立校も含め提供先を全国に広げる。導入費用は1校20万円前後から。

生徒らは端末にアプリをダウンロードし、スクールカウンセラーなどに匿名でチャットできる。低学年でも相談しやすいよう「友達」や「勉強」といった悩みのジャンルを選択式で用意した。高校生は個人のスマートフォンなどから相談する。匿名の相談でも、

(2024年5月23日付 山梨日日新聞 18面)

ズーム いじめ認知件数 小中高校や特別支援学校などで認知されたいじめの件数。文部科学省が毎年問題行動・不登校調査の中で公表している。2014年度に約18万8千件だった件数は、いじめ対策の意識向上などに伴い19年度には約61万2千件と3倍超に増加。新型コロナウイルス流行で一斉休校が実施された20年度は約51万7千件に減少したが、21年度から再び増加に転じた。

カウンセラーと学校側が連携し早期の解決を図る。気分や体調を美名のアンケートで答える機能も備え、担任の教師らが子どもの不調に気づけるようにした。不調の子どもにはアプリが自動でカウンセラーの充実を後押ししてヤットし、カウンセラーなど

文科省の調査では、2022年度の小中高などのいじめ認知件数は68万1948件で最多を更新。政府はいじめ防止に向け、端末の活用やカウンセラーの充実を後押しして

問1

NTTデータが、小中高校向けに提供を始めるアプリとは、なにができるアプリですか。

.....

問2

そのアプリを開発した目的を、教えてください。

.....
.....

問3

低学年でも相談しやすくするために、どのような工夫をしていますか。

.....

問4

悩みやいじめをなくすには、なにをしていけばよいと、あなたは考えますか。

.....
.....